



No.	頁	意見・提言要旨	市の考え方
4	38 41 57	矢岳高原へのアクセス、優れた景観の活用、森林資源の活用など具体的な方策が描かれていない。	ご意見の内容は、えびの市観光の将来像を示した第6章(2)③「自然と景観を生かしたわくわく観光の推進」や観光振興施策の推進を示した第7章(1)①「自然環境に配慮した観光の推進」、重点プロジェクト第9章【4】『「カルデラの上から下まで満喫」プロジェクト』の中で、自然に負担をかけない施策として反映させ、効果的な施策の実施に努めていきます。
5	38 42 47	観光はえびの市にとって、農業とともに重要産業のひとつ。この分野において本格的な開発姿勢が全く見当たらない。例えば、京町温泉の地盤沈下、沈滞ムードの打破。その目標やプロセスも明らかでない。	えびの市観光の再興に向けては、規模の大小を問わず幅広い観光事業者の皆様とも連携を図りながら、取り組んでいく必要があると考えています。また、観光振興も本市のまちづくりにとって極めて重要な課題として認識しております。本格的な開発については、観光振興施策の推進を示した第7章(6)「観光関連産業の育成」の中で観光客の多様なニーズに対応した魅力ある観光地づくりの実現に向け努めていきます。 京町温泉の活性化に向けては、第6章(2)④「歩いて楽しい温泉地を核とした観光産業の育成」や第7章(2)③「温泉地の活性化」に代表されるような取り組みを進める中で、関係する皆様との意見交換などを通じて、現状や課題を十分把握し、効果的な施策の実施に努めていきます。
6	39	5年後、10年後のえびの市の観光入込み客の想定が出せるはずはない。また、それを期待することもできない。	基本的な達成目標は設定しました。本市の観光地に「もう1度」訪れてもらえるよう、様々な施策の取り組みを通じてその実現に向け努めていきます。
7	40 ～ 52	本計画の「重点プロジェクト」間の関連性、関係性にえびの市独自の観光振興の特徴を見出すべきだと考える。観光の地域間競争を勝ち抜くには「重点プロジェクト」の羅列ではなく、有機的な連携こそが大きなパワーとなって、市内外へ有益な情報発信ができると考える。	地域特性を活かしたえびの市独自の観光施策につきましては、第7章「観光振興施策の推進」と第8章「計画の推進体制」の取り組みを進める中で、ご意見の趣旨が反映させるよう努めていきます。 なお、各種統計や実態調査などを有効に利用出来るように整理し、観光基礎データとして蓄積を図りながら、継続的な開催を予定している観光審議会では計画の検証・評価を客観的に評価してもらうこととしています。また、市、観光関連団体、観光事業者、市民の役割分担を明確にし、四者の有機的な連携のもとで、市民一人ひとりが「えびの市のセールスマン」であるとの自覚の醸成を図っていきます。
8	42 45 47	観光を売り物とし、さらに産業として成り立たせ、雇用を生み出し、観光収益を増大させていく夢やビジョンが描けないはず。	観光振興施策の推進を示した第7章(2)「特色ある地域づくり」や、(4)「人づくり・もてなしの力の向上」、(6)「観光関連産業の育成」で、観光産業の雇用創出や担い手育成・確保の促進、観光産業活性化策等を反映させました。

No.	頁	意見・提言要旨	市の考え方
9	44 48 58	九州新幹線や九州自動車道を利用する人たちの取り込みをどうするのか。具体的な観光客誘導対策、受入対策が極めて希薄で物足りない。	九州新幹線や自動車による観光客の取り込みは重要な課題と認識しています。そのため、観光振興施策の推進を示した、第7章(3)「受入環境の整備」や(7)「広域観光の推進」、第9章【4】『「カルデラの上から下まで満喫」プロジェクト』に反映させました。円滑な交通の確保や道路環境の整備などの取組みを進めるための関係機関と連携を図るよう努めていきます。
10	47 55	やたけ荘跡地の再開発や廃業した温泉旅館の手当て、再開発への構想や具体的対策等全く触れられていない。	ご意見につきましては、観光振興施策の推進を示した、第7章(6)「観光関連産業の育成」や第9章【2】『「昭和の温泉郷 えびの京町」プロジェクト』の取組みを実施する中で、どのような開発が有効的なのか、今後研究していきたいと考えています。
11	61	「重点プロジェクト」を5年間に確実に実行し、成果を達成するための行程表があげられていない。	ご意見につきましては、「重点プロジェクト施策一覧」として反映させ、年度ごとの進捗管理を行いながら、取組みを進めていきたいと考えております。
12		この計画で、えびの市が田園観光都市と言えるのか、はなはだ疑問。もっと真剣な議論を踏まえて再検討しなおす考えはないか。	本計画策定にあたり、学識経験者、観光関連団体、市民を含む観光審議会で、ご意見を伺い、出された意見を尊重して策定しています。また、次年度以降も、継続的な開催を予定している観光審議会で計画の検証・評価を客観的に評価してもらうこととしています。
13		新たな観光客誘致の視点が極めて弱い。市の持つ観光資源、ポテンシャルを最大限活かすための新たな観光開発の視点や構想も見えず、具体的な対策も示されていない。	えびの市観光の再興に向けては、規模の大小を問わず幅広い観光事業者の皆様とも連携を図りながら、取組んでいく必要があると考えています。ご意見を踏まえ、関係する皆様との意見交換などを通じて、現状や課題を十分把握し、真に必要な観光開発の研究や効果的な施策の実施に努めていきます。